

～市民と農業者をつなぐ
武蔵野市農業委員会だより～

むさし



第18号 令和4年4月

編集・発行 武蔵野市農業委員会

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

Tel 0422-60-1833 (直通)

Fax 0422-51-9408 (直通)

武蔵野市農業委員会は70年を迎えました！



▲かつての市内農業の様子（武蔵野ふるさと歴史館より提供）

昭和26年に農業委員会等に関する法律が施行され、70年が経過しました。この間に農業委員会は、農地法等に基づく調査や指導を実施し、武蔵野市の農地や農業者の権利を守ってきました。

平成28年には同法が改正され、選挙制から市長の任命制に変わりました。農業従事者以外の委員が加わることにより、新たな視点を持って取り組んでいます。

今後とも本市の農業を守り、発展させていくために、皆様ご支援の程よろしくお願いいたします。



武蔵野市農業委員会 会長

榎本 一宏

歴代農業委員会会長（10名）

荒井 源吉	（昭和26～29年）
富岡 重一	（昭和29～32年）
荒井 萬之助	（昭和32～47年）
竹内 精十郎	（昭和47～50年）
榎本 正治	（昭和50～平成2年）
竹内 邦雄	（平成2～8年）
秋本 弘明	（平成8～14年）
田中 政伯	（平成14～23年）
井口 良美	（平成23～29年）
榎本 一宏	（平成29年～現在）

（敬称略）

この度は、武蔵野市農業委員会が70周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

本市では、農業振興基本計画に基づき「安全・安心武蔵野農業」に取り組んでいます。消費地に近いという都市農業の利点を生かし、生産者の皆さまには新鮮な農産物を提供していただいております。

市民の皆さまには地産地消にご協力いただき、本市の農業の応援団となっていきたいと思っております。



武蔵野市長

松下 玲子

令和3年度 農家見学会



▲大根を抜くのは大変だ！



▲白菜の根を見たことがありますか？



▲どれにしようかな？

1月15日に市内3カ所で農家見学会を行いました。対象は、昨年に引き続き小学1～3年生とその保護者で、30組の定員を上回る305組の応募がありました。

参加者からは「野菜を抜くのが楽しかった」、「土に触れる良い機会だった」、「農家さんの生の声が聴けて良かった」等、たくさんのコメントが寄せられました。

このイベントは、都市農業に触れてもらう機会を提供するために、市・農業委員会・JAの三者で開催しています。地産地消の大切さ、都市農地の重要性、農業者のやりがいや苦労等を皆様に知っていただければ幸いです。

地域住民とのコミュニティ作り



▲参加者で大根を干しました

清水農園では、幼稚園の園児や地域住民と種まきや収穫等の体験を行っています。

13年前に境幼稚園の園児とその保護者でたくあん作りを始め、昨年からは高齢者関連施設テンミリオンハウス『きんもくせい』の利用者も挑戦中です。

日本の農業は生産と共に村としての文化的なつながりが強く、畑は地域住民とのコミュニティの場として、その文化を受け継いできました。

0歳から90歳代の老若男女が訪れる清水農園は、都市農業を次世代に伝える重要な役割を果たしています。

農地パトロール



▲農業委員がしっかり確認します

農業委員会は、年1回農地パトロールを実施しています。

農地がしっかり耕作され、野菜等が生産されているかを確認するためです。

特によく肥培管理されている農地は表彰します。

市民のみなさんには、「農」のある緑豊かな環境を提供し、農家には励みとなっています。

令和3年度から
開始しました

〈優良農地表彰〉

高橋 栄治 (吉祥寺)	榎本 清一 (関前)	高橋 一男 (境西部)
榎本 一宏 (関前)	井口 義一 (関前)	吉野 晃弘 (境南部)
坂本 和人 (関前)	高橋 嘉晴 (境西部)	吉野 憲二 (境南部)

(敬称略)

令和3年度 秋のイベント

にいなめさい

新嘗祭にて粟を供納 (明治神宮)



新嘗祭は、毎年11月23日に収穫物に感謝し、祈念する行事です。

奉耕者は高橋清次さん。本市では55年ぶりとなり、多くの農業関係者の協力を得て、供納できました。

新鮮館に宝船が登場



11月27日に、JA東京むさし武蔵野地区青壮年部の皆さんによって、新鮮な農産物を使用した宝船が作成されました。

フレッシュサラダ作戦



11月29日・12月8日は、合計1,587点の市内産野菜の販売がありました。

約1時間で完売となり、好評でした。

令和3年度に表彰されたみなさま

第61回 企業的農業経営顕彰	令和3年度 農業功労者感謝状	令和3年度 新規就業者奨励賞	令和3年度北多摩地区 優秀農業経営者表彰	第55回農業者功労章 (緑綬功労者)	令和3年度 産業功労者表彰
高橋 億吉・里絵子 (境東部)	高橋 一男 (境西部)	田中 弘 (吉祥寺)	大坂 勇 (関前)	大坂 新一 (関前)	高橋 清次 (境西部) 中村 健二 (関前)

(敬称略)

「新鮮で安全・安心な野菜はすぐそばに」 生産者の笑顔



実(みのり)さん

武蔵野市内で活躍
する農家の方々を
ご紹介します。

大坂さん宅



豊(ゆたか)さん

おおさか いさむ
大坂 勇さん (関前3丁目在住)



勇さんは分家の5代目農家。平成7年、22歳のときにサラリーマンを退職、就農しました。

3代目までは野菜を中心に栽培してきましたが、昭和60年頃、父・充さんは、野菜中心から果樹生産に変更し、梨を作り始めました。

小平で100年続く梨農家の親戚から、色々話を聞き、試行錯誤しながら梨の生産に取り組みました。沢山の实を成らせた木々も年月を経て、近年は植え替えをしているとのこと。植え替えた苗からは4年くらいでまた美味しい梨が収穫出来るそうです。

また昨年からは新たにホップの栽培も始めました。20本の苗を植え付け、ビール350本分のホップが収穫できました。

今年北多摩地区優秀農業経営者表彰を受賞された勇さん、今後は現状を維持しつつ、市民から愛される農家を続けて行きたいと語ってくれました。

◀このホップから関前エールが作られました

武蔵野市ふるさと応援寄附～東京うど～



武蔵野市産の東京うどは、昨年度から『武蔵野市ふるさと応援寄附』の返礼品になっています。

毎年1月～3月に申込みを受け付けており、収穫でき次第、新鮮なものをお届けしています。

生でそのままいただくのはもちろん、春巻きやきんぴらにしても美味しいです。独特でさわやかな香りと、シャキシャキの歯ざわりをお楽しみください。

編集後記

むさし「農」第18号発刊にあたり、関係者各位にご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

今年度も未だコロナウイルス感染の終息も見えない状況でしたが、各種イベントも許容される環境で開催された内容について掲載することができました。

今後とも市民のみなさまと農業者をつなぐ様々な情報を提供できますよう編集委員一同努力してまいります。

スマホで検索

武蔵野市農産物
直売所マップは
こちら↓



武蔵野市
農業委員会だより
バックナンバーは
こちら↓



食を育む。
むさしのは
こちら↓

